

★まほろばクリーンセンターの「建物壁画」に感謝状（2017.2.1）

本校、マンガ部2年生の小松志乃さんが、香南清掃組合から依頼を受け、まほろばクリーンセンターの建物壁面に、香美市の鳥「かわせみ」、花「あじさい」、木「すぎ」をあしらった壁画を完成させました。香美市、香南市、南国市の3市の壁画がきれいに描かれています。そのお礼として香南市清掃組合から小松さんと学校に感謝状をいただきましたのでご報告します。これからも山田高校は地域とともに活躍できる高校であり続けます。





★香美市・香南市・南国市【市長へのまちづくりアイデア提言】(2017.2.1)

2月1日、1年生による「市長へのまちづくりアイデア提言」が、香美市・香南市・南国市で行われた。10月から始動したこのプロジェクトは「総合的な学習の時間」で行われたもの。しかし授業時間だけでなく、放課後や休日を返上し、どうすればいいアイデアができるか頭を悩ませて取り組んできたプロジェクトである。約5ヶ月間、工科大生のメンターさんと一緒に斬新なアイデアを考えていった。香美市は12チーム、香南市は8チーム、南国市は6チームが各指定場所で市長に提言した。香美市は「それいけアンパンマン号！～We made you happy～」が、香南市は「山北の宝。山北みかんを皮まで使って、美味しく『みかんでマーマレード』」が、南国市は「あの日見た商店街の繁栄を僕たちはまだ知らない～後免町商店街映画プロジェクト～」が見事大賞を獲得。提言を終えた生徒達は、「積極的に物事に取り組めたし、たくさん知らなかったことを学べた」「ここまでみんなと頑張ったかいがあった」と充実感と達成感であふれていた。



★第1回「伝える力選手権」(2017.1.28)

最優秀賞受賞 発表テーマは「The Reason Why We Changed ～私たちが変わった理由～」です。商業科のみんなは、次のことを会場の方に熱く伝えてくれました。「自信のなかった私たちを、山高の商業科は前向きな人間に変えてくれました。商品開発や販売実習を通して、人と人とのつながり、人と協力し合う態度や姿勢を学びました。商業科で学んだことは、一生の宝物になると確信しています。皆さんに伝えたいことは、「自分の意志と出会いがあれば、人は新しい自分になれる！！」です。」



★Y.Y.防災合宿(2017.1.27・28)

1月27日(金)～28日(土)の二日間、地域の方約20名(小学生含む)と、本校生徒50数名と教員が、来る南海トラフ地震に備えた防災合宿を実施しました。みんなが協力して段ボールベッドを作ったり、防災食(夕食・朝食)を食べたり、避難場所である山田高校の改善点等について熱く協議しました。また、愛知工業大学の板宮教授にご指導頂き、津波・火災のバーチャル体験もしました。たいへん充実した取り組みとなりました。





★高知県地方創生アイデアコンテスト (2016.12.18)

優秀賞受賞 『高知県地方創生アイデアコンテスト』において、高校生の最高賞である「優秀賞」を獲得しました。18日、高知会館において、高知県を元気にするアイデアを競い合う、「高知県地方創生アイデアコンテスト」が開催されました。一次予選には76チームからのエントリーがありました。最終選考には高校5チーム、高校生以降の部5チームの計10チームが残り、各チームのアイデアを熱くプレゼンしました。どのチームも素晴らしいアイデアばかりで、将来、高知県を担う若者は着実に育っていることを実感しました。





★えびす昭和横丁③(2016.12.17)

『書道部パフォーマンス&吹奏楽部演奏会』17日、「街角音楽隊会場」にて吹奏楽部の演奏に合わせて書道部が本校の校訓をテーマに書道パフォーマンスを行いました。お客さんの目の前で大きな筆を使って作品を仕上げていく気迫がこちらにまで伝わってきました。18日には「ふらっと中町」にて山田高校と鏡野中学吹奏楽部とのコラボライブを行いました。昭和の名曲や懐かしいアニメのテーマなどを演奏して盛り上がりました。





★あびす昭和横丁② (2016.9.17-18)

「清笑屋&おいで屋」 商業科2年生と生徒会とで「清笑屋」を、商姜ールズ&商いボーイズとボランティアーズで「おいで屋」をそれぞれ出店しました。「清笑屋」は射的と輪投げのお店で、2日間を通して子供から大人まで楽しんでいただきました。「おいで屋」では「山田まん」の販売や、ボランティアーズによる魚釣りゲームやボウリング、絵本の読み聞かせなどを行いました。時折、大雨にも見舞われましたが、多くの方が訪れました。







★えびす昭和横丁① (2016.9.17-18)

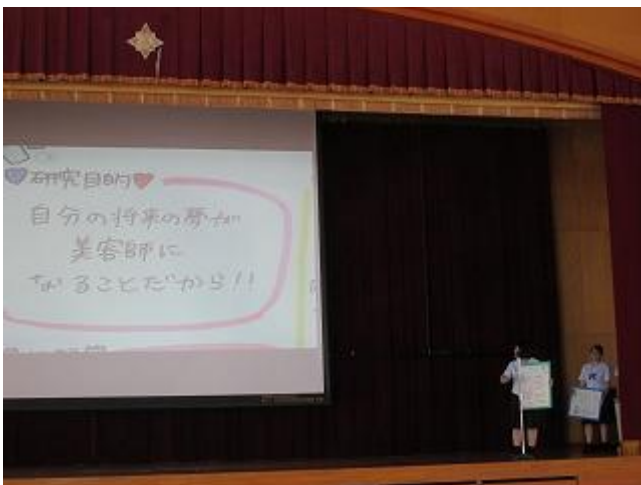
「CM発表会」土佐山田町えびす商店街において「えびす昭和横丁」が開催されました。商店街の空き店舗を利用して、昔懐かしいお店が並び、昭和の雰囲気を体験することができる催しで、19回目を迎えました。本校の生徒もステージでの発表や、スタッフとして例年参加をさせていただいております。普通科の1年生が総合的な学習の時間で作成した地元企業のCM発表会を行いました。生徒がインターンシップなどを通じて香美市内の25企業のCMを作りました。地域や企業の方からの熱い眼差しに生徒たちはやや緊張気味でしたが、どれも力作ぞろいで、審査員の方々からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。





★Y.Y.チャレンジ (2016.9.7)

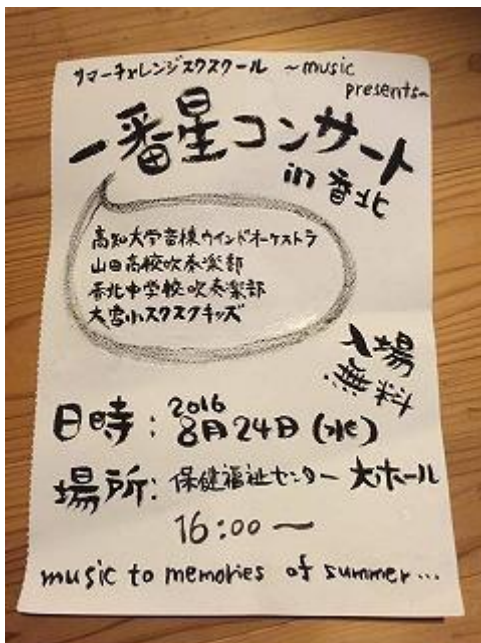
「卒業研究発表会」 3年生のY.Y.チャレンジ（総合的な学習の時間）で卒業研究の最終学年発表会が行われました。普通科4クラスからそれぞれクラス代表が1名選ばれ、個性あふれる発表を行い、校長先生からの表彰状と副賞の図書カードをいただきました。





★サマーチャレンジスクール in おおみや 2016 (2016.8.24)

「一番星コンサート」 夏休みを利用して地域の子供たちと体を動かしたり、自然を探検したり様々な活動をするサマーチャレンジスクール。最終日は浴衣の着付け教室のあと、本校吹奏楽部、香北中学校、高知大学のみなさんと合同で香北保健福祉センターにおいて「一番星コンサート」を開催しました。夏のイベントの締めくくりとして、全員浴衣で演奏し、満員の客席は大盛況で幕を閉じました。





★土曜英語塾開講（学校地域協働本部事業）

山田高校では、「国際的視点をもった人材」、「21世紀の社会で活躍できる人材」の育成を目的とし、土曜英語塾を開校しました。グローバル社会で活躍するための語学力を身に付けるために、英語検定の上級を獲得するため1年生26名が頑張っています。年間23回実施、写真は開校式の模様です。







★YYスピリッツ講演(2016.7.13)

「人生負け勝ち」 元日本代表バレーボール監督柳本昌一氏の講演が山田高校にて行わ

れました。柳本氏は現役を引退後、指導者としてバレーボール界でご活躍されてきました。多くの挫折を乗り越えながら「全日本女子バレー復活請負人」として、チームがどん底の状態からアテネオリンピック 5 位、北京オリンピック 5 位という結果を残されてきました。現在はバレーボール解説者としてご活躍なさっています。柳本氏の講演では、自身や監督時に見てきた挫折体験から成長をしたお話や、柳本氏が大切にしている「振りきり・割りきり・思いきり」という言葉なども頂き、生徒には多くの刺激があったようでした。14 日の高知新聞には、「挫折しても目標を持って努力することの大切さを生徒に訴えた」と紹介されました。生徒だけではなく、見に来て頂いた父兄の方々や教職員にとっても有意義な講演になったと思います。



★YYスピリッツ講演(2016.6.27)

「CM制作。地域貢献。世界の香美市。～USPこそが、人の心を動かす～」 今年度、普通科の1年生たちは「総合」の時間、グループで「地元企業のCM制作」に取り組んでいます。その活動に関連して、CMクリエイター安田雅彦さんを山田高校にお招きし、講演していただく機会を得ました。安田さんは南国市のご出身で、「(株)電通」に所属され、数々の有名なCM広告を手掛けてこられた、希代のCMディレクターでいらっしゃいます。現在は、高知県庁と高知県地産外商公社から事業受託され、「高知家」キャンペーンを多くのスタッフとともに進められています。安田さんがCM作りの際にもっとも重視されるのが「USP」です。USP＝「消費者の購入理由となる、特徴的なベネフィット（商品そのものでなく、商品から得られるメリット）を表すメッセージや価値提案」のことと安田さんからご説明がありました。「広告主の気持ち（一番売りたい物・伝えたいこと・アピールしたいこと）」と「お客様の気持ち（自身の生き方に沿っていたり、リアルに想像できたりし、理想を実現できそうだと感じられる商品）」との重なりを見出し、それを「共通のUSP」と表現されていました。この「USP」が速く・強く・魅力的なものであれば、CMを目にした人の心に、きっとメッセージは伝わるのだということです。

生徒たちは皆熱心にお話を聴き、講演後の質疑の時間も、具体的な質問が出ていました。

そのおかげで、講演だけではお聴きすることができなかつたようなお話を引き出すこともできていたように思います。

2・3年生はCM制作には関わっていませんが、自分たちの進路について考える際にヒントになるようなことが、たくさん詰まった講演であったと思います。



★映画『ゆず姫』上映会 (2016.6.2)

高知大学の「映画制作サークル 21.」が昨年度、「香美市学生地域活動支援事業」の助成を受けて制作した『ゆず姫』という映画が、山田高校で上映されました。この映画には山田高校が制服を提供したり、高校の敷地で撮影が行われたり、山高生がエキストラで出演していたりと、様々な形で協力しています。上映のあと、映画制作に関わった監督・役者・スタッフ（いずれも高知大学生）がインタビューに答えてくださり、最後に山高生から花束と「山田まん」とが贈られました。





★高校生のための金曜特別講座(2016.5.20)

東京大学が2002年に始めた公開講座がインターネット・テレビ電話システムを使って遠方の学校でも受講できるようになりました。毎回様々なテーマで開かれており、本校では先月より始まりました。今回はドイツの作曲家エッケルト氏をテーマにして近代アジアの西洋文学についての講義がありました。国歌の制作をはじめとして、日本の音楽の近代化にエッケルト氏が貢献していたことは知らなかった生徒が多く、学びのある講義となりました。





★県体壮行式 (2016.5.20)

21日より始まる県体に向けて、体育館にて壮行式が行われました。今年は15の部活動と102名の選手がエントリーしました。濱田校長からは「自分の中でナイスプレーを、ガッツポーズで吼えてもらいたい」とのエールが送られ、選手団を代表して剣道部主将郷本くんから気迫のこもった決意表明がされました。





★中庭コンサート (2016.5.20)

吹奏楽部が県体へ向けてエールを贈るべく、「中庭コンサート」を開催しました。この日は1年生が初のステージとなり、「勝手にシンドバッド」、「そばかす」、「Love So Sweet」などの曲を演奏しました。



★オリエンテーション・部活動紹介 (2016.4.11)

新入生にとっては、高校がどんな所なのか、中学校とどう違うのか、と疑問に思うことや不安に感じる事等がまだまだある時期だと思います。この日の午前中は、そのような疑問や不安を解消すべく、学校のことを知るためのオリエンテーションが行われました。午後は部活動紹介がありました。全校生徒の見守る中、各部活動が舞台やフロア等で発表しました。入学したての頃、高校になかなか馴染めず、中学校に戻りたいと言っていた女の子が今年3年生になり、ある部活動の部長として堂々と発表している姿がありました。クラスとはちがう居場所を自分で見つけ、そこで生き生きと活動しているのを目にし、成長を感じました。部活動でもボランティアでも生徒会でも、何か打ち込めるものをさがし、どんどん挑戦していくことで、自ずと道は拓かれるはずです。今年度も、生徒の皆さんの活躍を期待しています。





★離着任式・対面式（2016.4.8）

1時間目、全校生徒が体育館アリーナに集まり、離着任式と対面式が行われました。離任式では、岡豊高校に転出された熊沢先生と祖父江先生が、ご挨拶くださいました先生方の心温まるメッセージに励まされ、新しい年度もがんばろうと思った生徒・教職員は多数いたはずです。対面式では、生徒会が中心となり、学校行事の紹介・学校生活を楽しむための心構えなどを、丁寧に、またおもしろく工夫しながら伝えてくれました。





★入学式 (2016.4.7)

平成 28 年度入学式が挙行され、普通科 1 2 1 名、商業科 2 6 名が入学を許可されました。新入生の皆さん、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。生徒の皆さんにとって、山田高校での学校生活が充実したものになるよう、教職員一同願っています。



